

広島市報号外第19号

財政事情

令和6年度上半期

広島市

## 公 告

令和 6 年 11 月 29 日

令和 5 年度の決算の状況と、令和 6 年度上半期の財政の状況を次のように公表します。

広島市長 松井 一實

### ————— 目 次 ————

#### I 令和 5 年度の決算の状況

- 1 財政規模の推移
- 2 財政の状況
  - (1) 市税収入
  - (2) 義務的経費
  - (3) 経常収支比率
- 3 市債残高の状況
- 4 財政調整基金の状況
- 5 決算資料（参考）
  - (1) 会計別総括表
  - (2) 一般会計＜歳入＞
    - ① 歳入の内訳
    - ② 市税の内訳
  - (3) 一般会計＜歳出＞
    - ① 歳出〔目的別〕の内訳
    - ② 歳出〔性質別〕の内訳
- 6 市民 1 人当たりの金額
- 7 企業会計の決算
- 8 健全化判断比率等について
  - (1) 健全化判断比率
  - (2) 資金不足比率
  - (3) 健全化判断比率等の推移

#### II 令和 6 年度の財政状況

- 1 予算の執行状況
  - (1) 一般会計
  - (2) 特別会計
- 2 市有財産の状況
- 3 市債及び一時借入金の状況
  - (1) 市債
  - (2) 一時借入金

# I 令和5年度の決算の状況

## 1 財政規模の推移（図1）

- ・ 平成16年度を基準（指数100）に、広島市（一般会計）、地方財政全体（普通会計）、国（一般会計）の指数の動きを比較すると、平成29年度から令和元年度にかけて、県費負担教職員制度に係る包括的な権限移譲などにより広島市の値が国を上回っていたが、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症対策関係経費の増などにより国の値が大幅増となったことから、広島市の値が国を下回っている。また、平成18年度から令和4年度にかけて、広島市の値が地方財政全体を上回っている。
- ・ 令和5年度の財政規模は、価格高騰重点支援給付金支給事業費の皆増などにより、3年ぶりの増加となった（対前年度プラス1.9%）。
- ・ また、一般会計と市税収入の指数の動きを比較すると、平成20年度までは市税収入の値が一般会計の値を上回っていたが、平成21年度以降は一般会計の値が市税収入の値を上回っている。

## 2 財政の状況

### (1) 市税収入（図2）

- ・ 令和5年度は固定資産税及び個人市民税の増収などにより、対前年度プラス1.9%の2,467億円となった。

### (2) 義務的経費（図2）

- ・ 歳出のうちその支出が義務付けられ、硬直性の高い義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）は、3,248億円となった（対前年度プラス0.2%）。
- ・ 義務的経費には、国庫補助金などの特定財源が充てられるものもあるため、市税収入と単純には比較できないが、両者の関係をみると、義務的経費が市税収入を上回っており、令和5年度には、その差が781億円となっている。  
〔※ 扶助費とは、生活困窮者、高齢者、被爆者、障害者等に対して、その生活を維持するために支出される経費である。〕

### (3) 経常収支比率（表1）

- ・ 経常的に支出される経費には、義務的経費以外にも、公共施設の管理運営費等の物件費などがある。
- ・ これらの経費も含め、財政構造の弾力性をみるための指標として使われる経常収支比率については、令和5年度は扶助費の増加などにより、98.7%（対前年度プラス0.5ポイント）となっている。

図1 広島市一般会計・市税、地方財政及び国の財政規模の推移

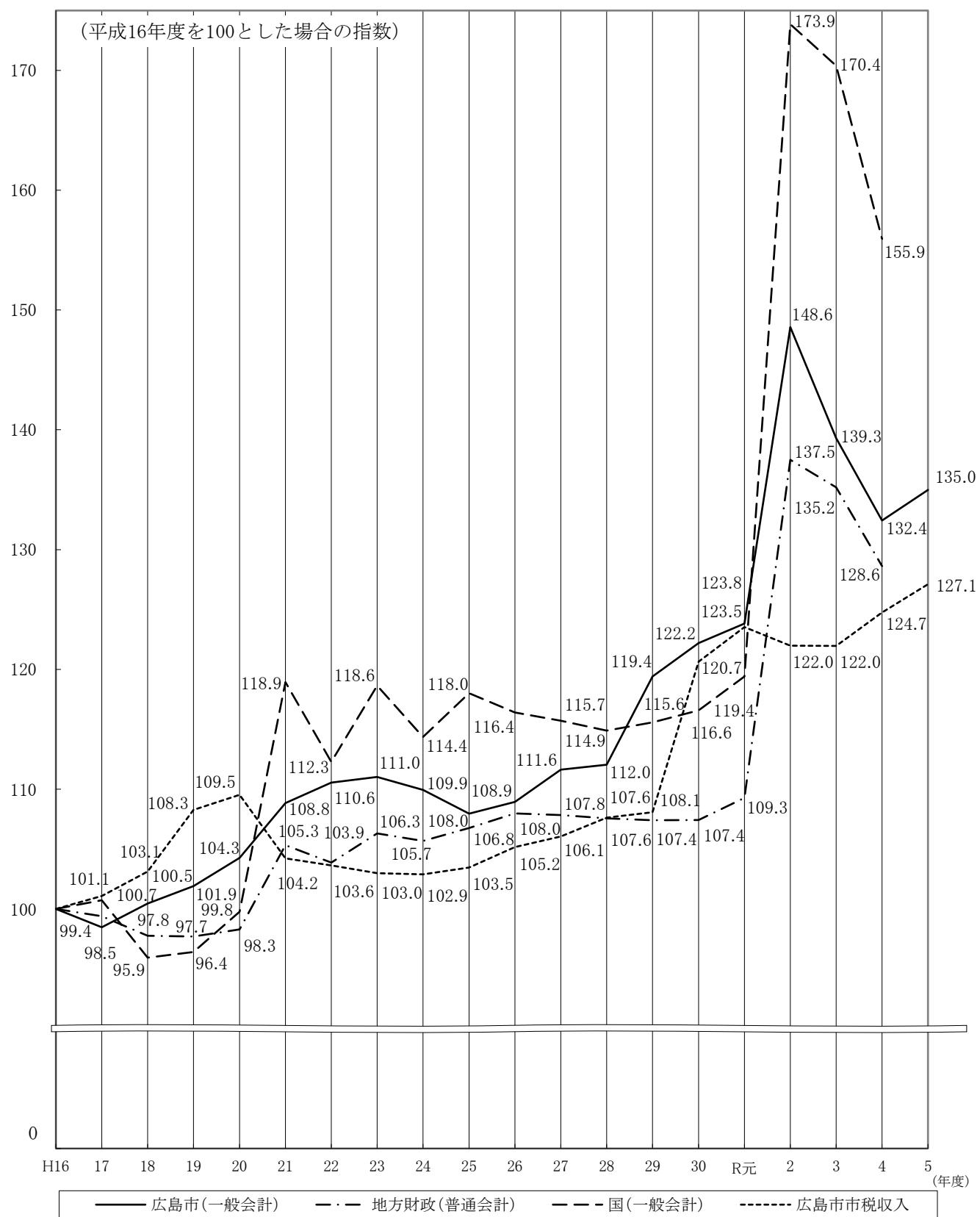
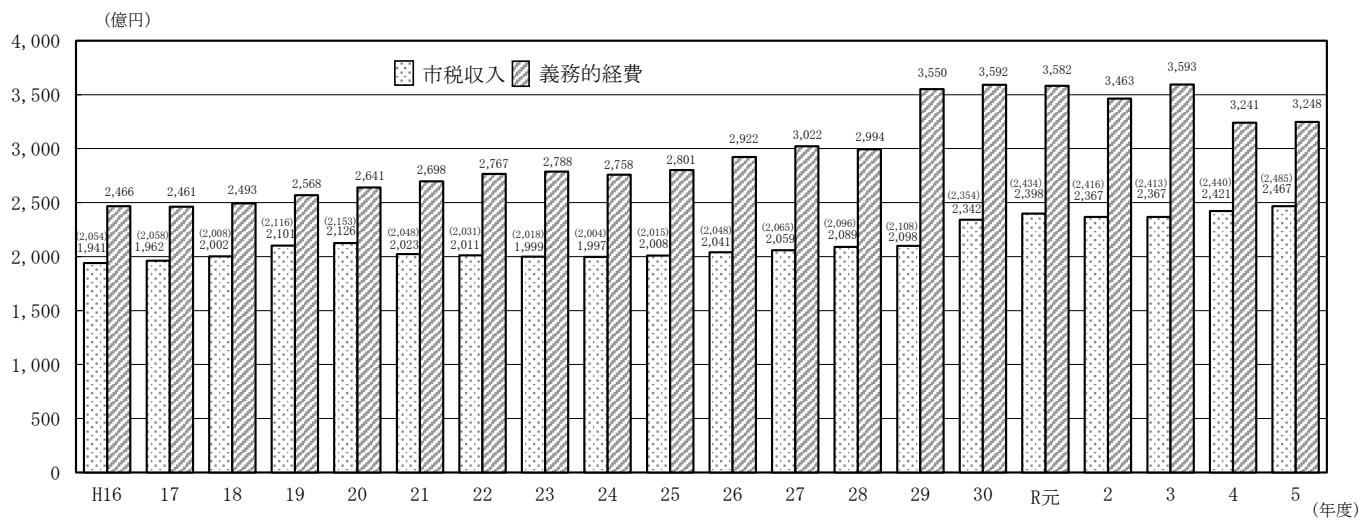


図2 市税収入と義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）の推移（決算ベース）



(注1) ( ) 内は、減税補填債、猶予特例債及び地方特例交付金を含めた金額である。

(注2) 義務的経費には国庫補助金などの特定財源が充てられるものもあるため、市税と義務的経費の関係は単純には比較できない。

### 義務的経費の内訳

(単位：億円)

区分	H16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5
人件費	832	849	858	899	873	875	867	847	827	798	835	848	848	1,368	1,363	1,348	1,411	1,409	1,420	1,395
扶助費	915	939	956	997	1,030	1,102	1,302	1,360	1,359	1,367	1,377	1,395	1,389	1,389	1,395	1,419	1,414	1,420	1,426	1,471
公債費	719	673	679	672	738	721	598	581	572	636	710	779	757	793	834	815	638	764	395	382
計	2,466	2,461	2,493	2,568	2,641	2,698	2,767	2,788	2,758	2,801	2,922	3,022	2,994	3,550	3,592	3,582	3,463	3,593	3,241	3,248

表1 経常収支比率の推移

(単位：%)

H16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5
96.1	96.0	95.8	98.4	96.2	97.9	96.3	96.9	96.8	96.4	97.7	97.4	98.6	98.2	98.1	98.4	97.6	94.8	98.2	98.7
(104.5)	(102.0)	(101.0)	(102.7)	(100.1)	(106.3)	(107.6)	(109.3)	(109.8)	(110.7)	(111.5)	(109.0)	(109.7)	(110.7)	(109.6)	(108.2)	(108.6)	(103.7)	(105.0)	(103.2)

(注) ( ) 内は、減税補填債、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債を経常一般財源から除いて整理した経常収支比率である。

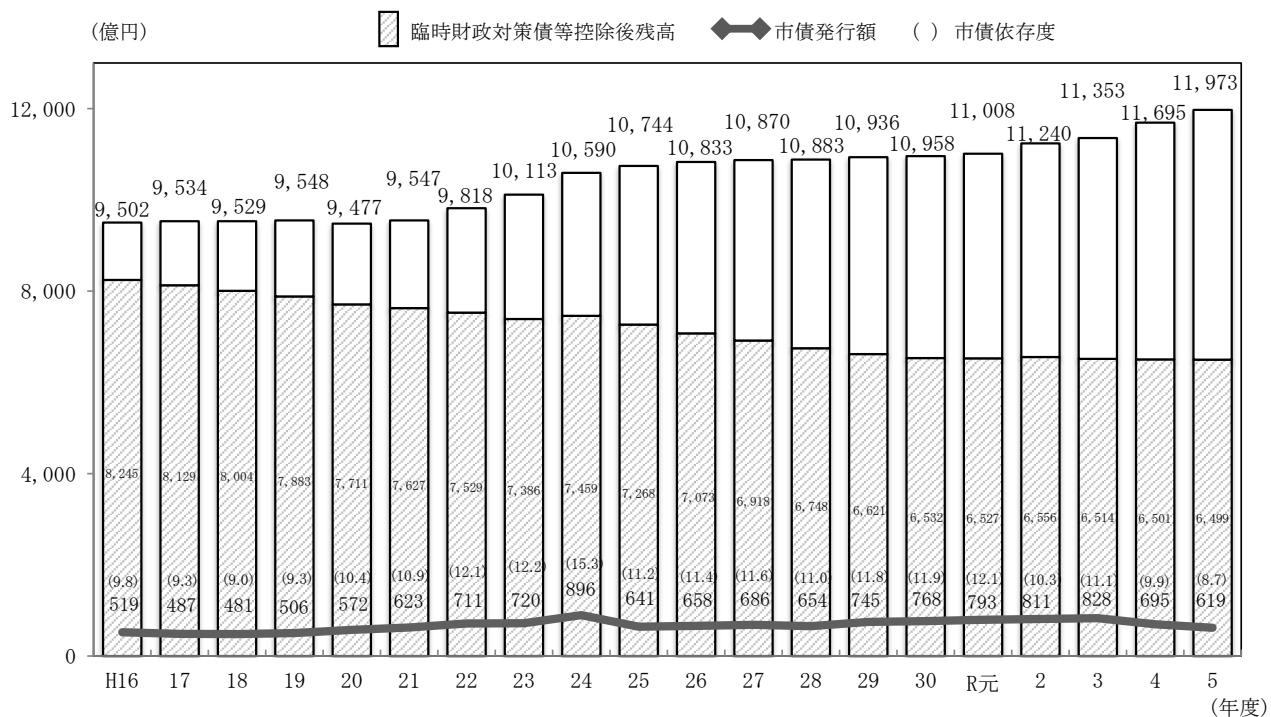
$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費、施設の管理運営費などの経常経費に充てる一般財源}}{\text{市税及び普通交付税など経常的に収入される一般財源}} \times 100$$

### 3 市債残高の状況（図3）

一般会計の年度末における市債残高は、臨時財政対策債の発行などで1兆1,973億円となったものの、臨時財政対策債残高等を除く残高は、前年度を2億円下回る6,499億円となり、着実に減少している。

本市では「第2次財政健全化計画」（計画期間：平成16年度～平成19年度）、「今後の財政運営方針」（計画期間：平成20年度～平成23年度）及び「財政運営方針（平成24年度～平成27年度）」、（平成28年度～平成31年度）、（令和2年度～令和5年度）に基づき、それぞれの期間において市債残高の抑制に努めてきたが、依然として高い水準にあるため、令和6年2月に策定した「財政運営方針（令和6年度～令和9年度）」においても、市債残高の抑制を目標の一つに掲げ、その抑制に努めることとしている。

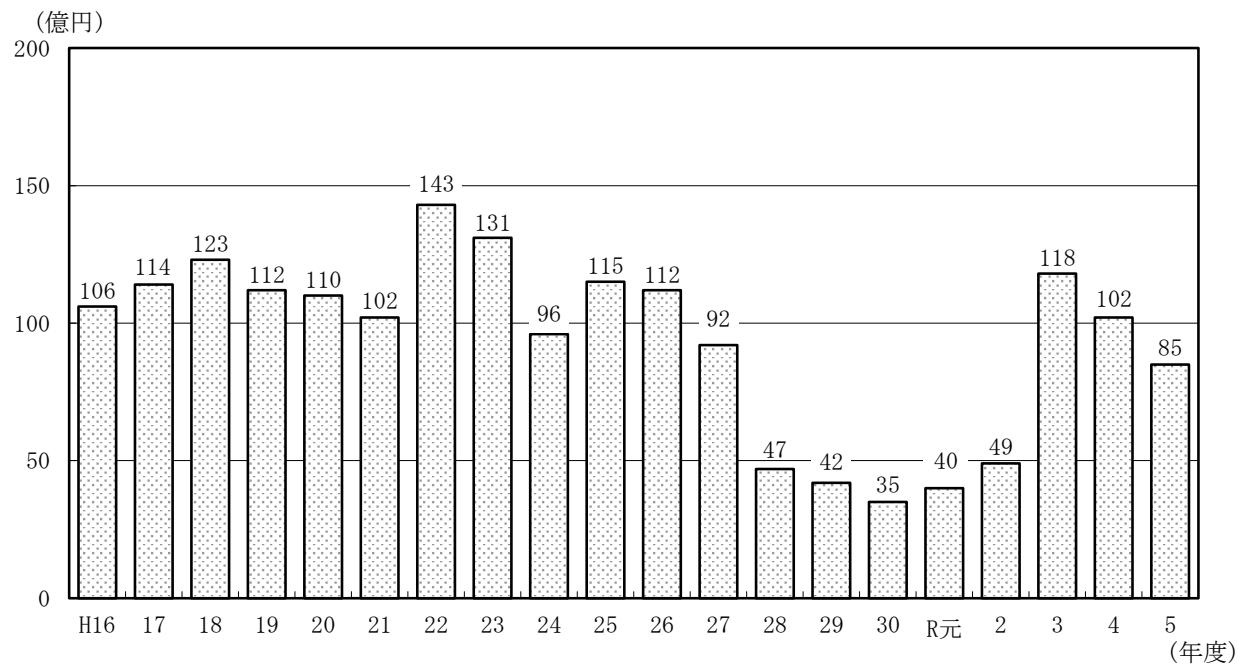
図3 市債発行額、残高及び依存度の推移



#### 4 財政調整基金の状況（図4）

- 財政調整基金とは、将来の大幅な税収減や災害の発生等の不測の事態に対応するために資金を積み立てたものである。
- 令和5年度末の財政調整基金残高は85億円となっている。

図4 財政調整基金の年度末残高の推移

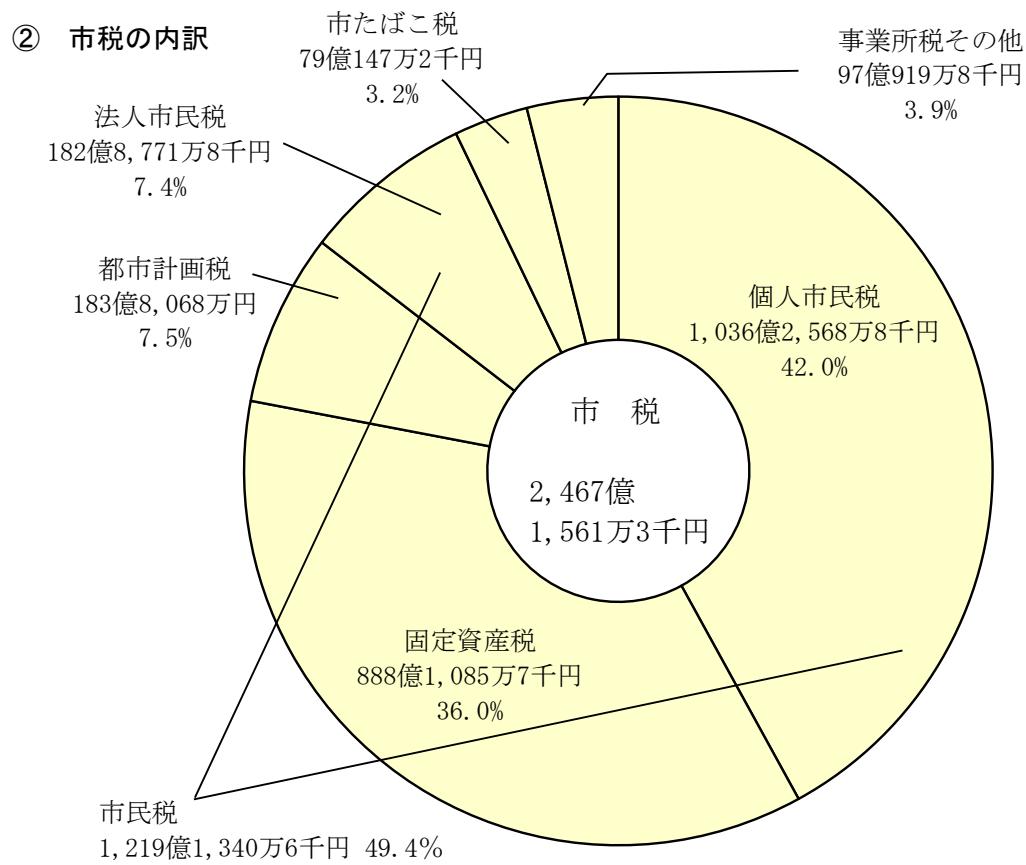
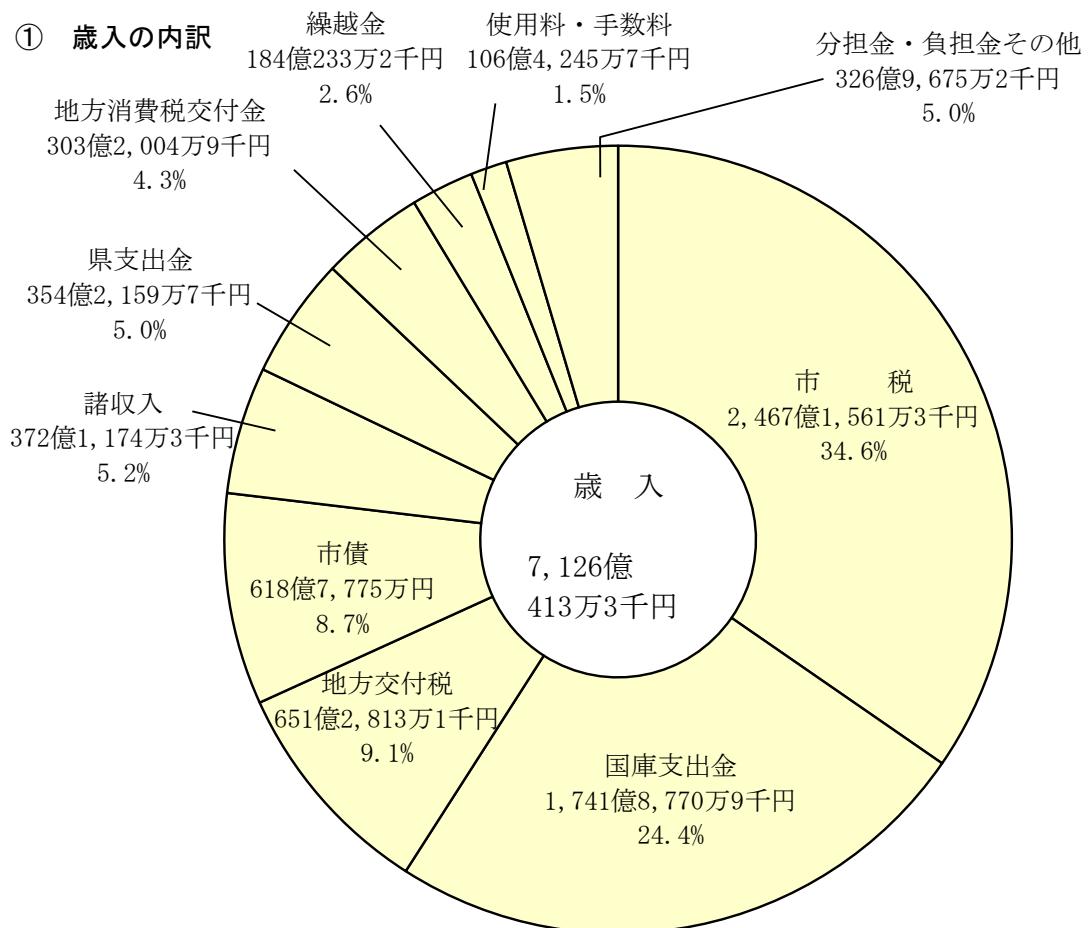


## 5 決算資料（参考）

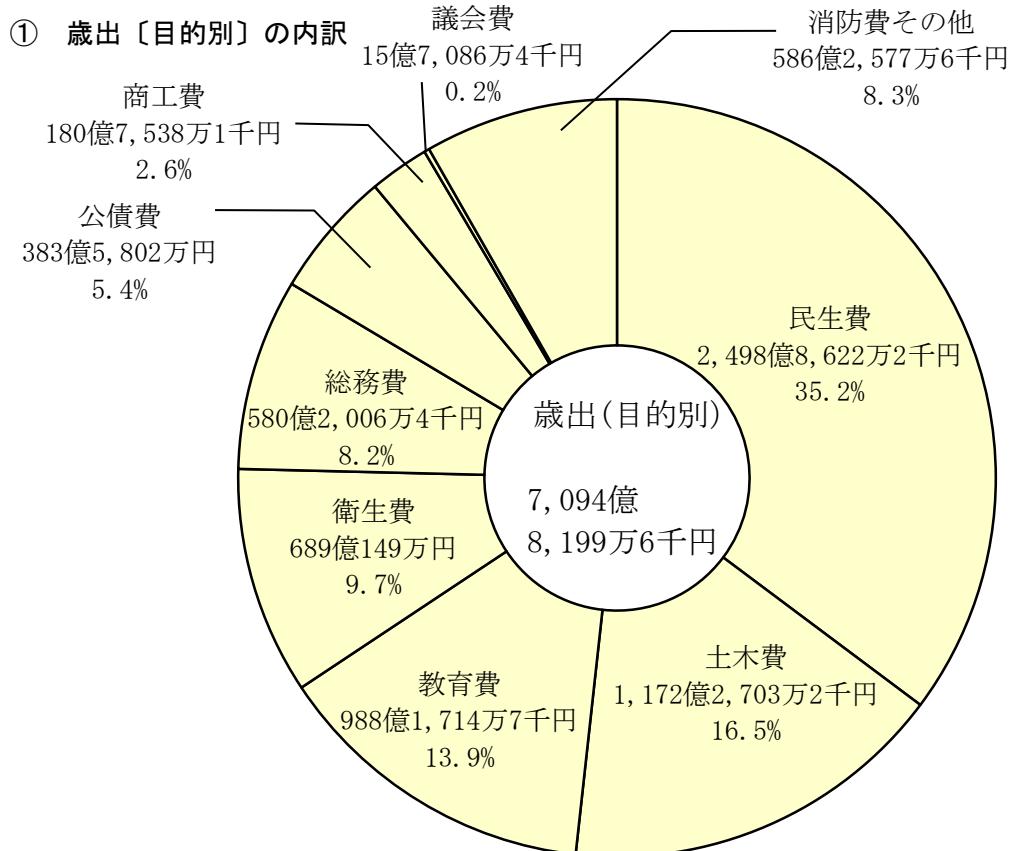
### (1) 会計別総括表

会計名	歳入 A		歳出 B		差引 (形式収支) (A-B) C	翌年度繰越分 充当財源 D		実質収支 (C-D)			
	兆	億	万	千円	兆	億	万	千円	億	万	千円
一般会計	712604133				709481996				3122137		1190162
特別会計	390976607				386333893				4642714		42887
母子父子寡婦福祉資金貸付		1661888			712082				949806		949806
物品調達		44779			40198				4581		4581
公債管理		128016422			128016422						
広島市民球場		1372532			1372532						
用地先行取得		676			676						
西風新都		978922			936117				42805		42805
後期高齢者医療		17381205			17304515				76690		76690
介護保険		105920585			105043170				877415		877415
国民健康保険		103395089			103395089						
競輪		23066478			20423567				2642911		2642911
中央卸売市場		2923484			2923402				82		82
国民宿舎湯来ロッジ等		56398			56398						
駐車場		628076			628076						
開発		831336			831336						
市立病院機構資金貸付		4649611			4649611						
元宇品町財産区		26812			63				26749		26749
高南財産区		733			48				685		685
三入財産区		5810			316				5494		5494
小河内財産区		5074			70				5004		5004
砂谷財産区		10697			205				10492		10492
合計	1103580740				1095815889				7764851		1233049
											6531802

(2) 一般会計<歳入>



(3) 一般会計<歳出>



② 歳出【性質別】の内訳

